



2019年2月5日

SOMPOホールディングス株式会社

SOMPOケア株式会社

「Future Care Lab in Japan」始動

～「人間」と「テクノロジー」の共生による新しい介護の創造プロジェクト～

SOMPOホールディングス株式会社（グループ CEO 取締役社長：櫻田 謙悟、以下「SOMPOホールディングス」）およびSOMPOケア株式会社（取締役社長：遠藤 健、以下「SOMPOケア」）は、「世界に誇れる豊かな長寿国日本」の実現を目指して、介護・ヘルスケア事業を展開しています。

本日2月5日（火）、「人間」と「テクノロジー」の共生による新しい介護のあり方を創造するプロジェクト「Future Care Lab in Japan」を始動し、国内外の最新テクノロジーの実証などを行う研究所（以下、「ラボ」）を開設しましたのでお知らせします。

1. 背景

（1）介護人材の需給ギャップ

近年、日本においては、高齢者人口の増加に伴い介護を必要とする高齢者の数が増加を続けています。要介護（要支援）認定者数は、介護保険制度がスタートした2000年の約250万人から2015年に約620万人に増加しており、2025年には800万人に達する見込みです^{※1}。

一方、介護サービスの現場においては、介護保険サービス事業所の約67%が人手不足を感じる^{※2}など、人材確保が喫緊の課題となっています。さらに今後は、介護に対する需要の増加に伴い、2025年には約245万人の介護人材が必要とされる^{※3}ところ、介護職員数は約211万人、すなわち約34万人の介護人材が不足すると予測されています^{※3}。

この介護人材の需給ギャップは、介護事業者にとっての経営課題であると同時に、超高齢社会の日本が抱える社会的課題とも言えます。

（2）介護へのテクノロジー活用に関する受容性や期待の高まり

介護用ロボットの利用意向に関する年代別調査によると、自分自身が介護する側になった場合、介護される側になった場合の利用意向は、全年代平均で共に約63%です。年代が高くなるほど利用意向も高くなる傾向にあり、60代以上では介護する側が約68%、介護される側が70%となっており、自分自身や親の介護が身近になるほど、介護におけるテクノロジー活用への期待が高くなるのがわかります^{※4}。

介護する側、介護される側ともにテクノロジー活用への受容性や期待は高まっており、その一方で、人は人にしかできない介護に注力することが求められていると考えます。

※1 出典元：経済産業省『将来の介護需給に対する高齢者ケアシステムに関する研究会報告書』

※2 出典元：介護労働安定センター『平成29年度介護労働実態調査』

※3 出典元：厚生労働省『第7期介護保険事業計画に基づく介護人材の必要数について』

※4 出典元：総務省『平成27年版 情報通信白書』

2. 目的

上記の背景をふまえ、ラボは、ICT・デジタル技術の有効活用と、人が本来やるべき介護を改めて定義することを通じて、「人間」と「テクノロジー」の共生による新しい介護のあり方を提案します。その結果、介護人材の需給ギャップを解消し、持続可能な介護事業モデルの構築および高齢者が安心して暮らせる持続可能な社会を実現します。

ラボが具体的に目指すのは以下の3点です。

(1) 介護サービスの生産性向上

ラボにおいて確かな技術・安全性検証を行うことにより、実効性あるテクノロジーを介護サービスの現場に導入することで、飛躍的な生産性向上を目指します。

(2) 介護職の処遇および働きやすさの向上

生産性向上によって、介護職の処遇改善を実現します。また、介護職の負担を軽減し、働きやすい環境の構築を目指します。

(3) ご利用者さまの QOL 向上

テクノロジーの活用により、介護におけるご利用者さまの選択肢を増やし、介護職は人にしかできない介護に注力することで、ご利用者さまの自立支援、QOL 向上を目指します。

3. 活動内容・予定

(1) 介護職の業務分析 <スケジュール：～2019年1月（完了）>

- ① 介護職が実際に携わる業務内容および所要時間を調査
- ② 「人間」が行うべき業務、「テクノロジー」によって代替できる業務を整理

(2) 技術・安全性の検証／試験導入 <スケジュール：～2021年3月（予定）>

- ① 業務分析に沿ったテクノロジーをノミネート
- ② ラボにおいて技術検証や安全性検証およびメーカー等との共同研究・共同開発を実施
- ③ SOMP Oケアの介護施設において試験導入

(3) 本格導入 <スケジュール：①随時、②2021年4月（予定）>

- ① SOMP Oケアの介護施設において本格導入
- ② 新しい介護をコンセプトとした新棟において本格導入

以上

【ご参考】

● 「Future Care Lab in Japan」のミッションステートメント

Future Care Lab in Japan は、「人間」と「テクノロジー」の共生による新しい介護のあり方を創造し、加速する超高齢化に伴う課題の解決を通じて、高齢者が自立し尊厳をもって暮らす持続可能な社会の実現と高い付加価値と生産性を備えた持続可能な介護事業モデルの構築に寄与していきます

● 「Future Care Lab in Japan」 URL および所在地

URL : <https://www.futurecarelab.com/>

所在地 : 東京都品川区東品川 4-13-14 グラスキューブ品川 10 階

※今後、上記サイトにおいて「Future Care Lab in Japan」の最新情報を発信していきます。



「Future Care Lab in Japan」オープニングイベントの様様

<左から>

SOMPOケア株式会社 代表取締役社長 遠藤 健
国立研究開発法人産業技術総合研究所 ロボットイノベーション研究センター長 比留川 博久 様
SOMPOホールディングス株式会社 介護・ヘルスケア事業オーナー 奥村 幹夫
SOMPOホールディングス株式会社 グループCEO 櫻田 謙悟
東京大学公共政策大学院 客員教授 増田 寛也 様
SOMPOホールディングス株式会社 グループCHRO 笠井 聡